

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・『家庭教育サポート企業』協定締結式
- ・厚真放課後児童クラブ整備
- ・ハロウィンパーティ
- ・厚真町メディア講演会
- ・ノーゲームデー取組結果報告
- ・平成29年度厚真町成人式案内
- ・歳末チャリティ演芸大会案内
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

『家庭教育サポート企業』協定締結式

生涯学習だより7月号でご紹介した、企業による地域の教育活動への参画を目的とした『家庭教育サポート企業』7社の協定締結式を行いました。厚真町の家庭教育サポート企業は27社となりました。今後とも子どもたちの応援団として、よろしくお願いいたします。

【締結企業のご紹介】

有限会社 沼田重機、厚真園（有）坂本商事
厚真オートサービス株式会社、瀬戸商店、潮騒ラーメン
有限会社 蔵重自工、味の店 ドライブイン本郷



★『家庭教育サポート企業』募集中！！★

これまでも学校教育活動、地域行事に参画いただいている企業の皆様、これから子どもたちのために何かしたいと考えている企業の皆様、教育委員会(27-2495)までお問い合わせください。

厚真放課後児童クラブの整備について

厚真放課後児童クラブの拠点となっている厚真児童会館は、老朽化に加え利用児童数の増加から狭隘化(きょうあいか)が進んでいます。このため、ゆとりある新たな施設を厚真中央小学校の隣地に建設し、平成31年度の開設を目指してまいります。また新たな施設では、室内の運動に小学校の体育館を活用することから、クラブ専用の体育館は設置しません。

建設場所の選定では、①現在地、②小学校周辺、③小学校坂下の町有地の3箇所を候補地として、保護者の皆さんや小学校のご意見もいただき検討してまいりました。ご意見では、塾や習い事、こども園とのお迎えが不便になるので現在地がよいのではないかとのご意見もいただきましたが、総合的に検討した結果、下校時の安全性や遊び環境、学校や放課後子ども教室との連携などの点で小学校周辺が最も適していると判断したものです。全ての条件で満足いただけるものではありませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。



↑ 中央小学校隣地に建設予定

情報化社会での教育のあり方を学ぶ

10月25日(水)18時から、厚真町総合福祉センターでNPO法人子どもとメディア専務理事である古野 陽一氏を講師に招き、「スマホ社会とメディア依存への対応」という演題で、厚真町メディア教育講演会が開催されました。



講演では、情報発信の危険性、スマホ育児の影響、スマホと学習効果の関係、体への影響、ネット・ゲーム依存など、多方面からスマホ時代のリスクについて話されました。

子どもに責任能力が無ければ、スマホを「遊び」や「楽しみ」で使ってはいけないこと、そして、子どものネット利用は「リスクを覚悟したうえで、それでも必要な機能を最小限利用する。」ことなど、子どもを守るべき大人の姿勢について警鐘を鳴らしていました。

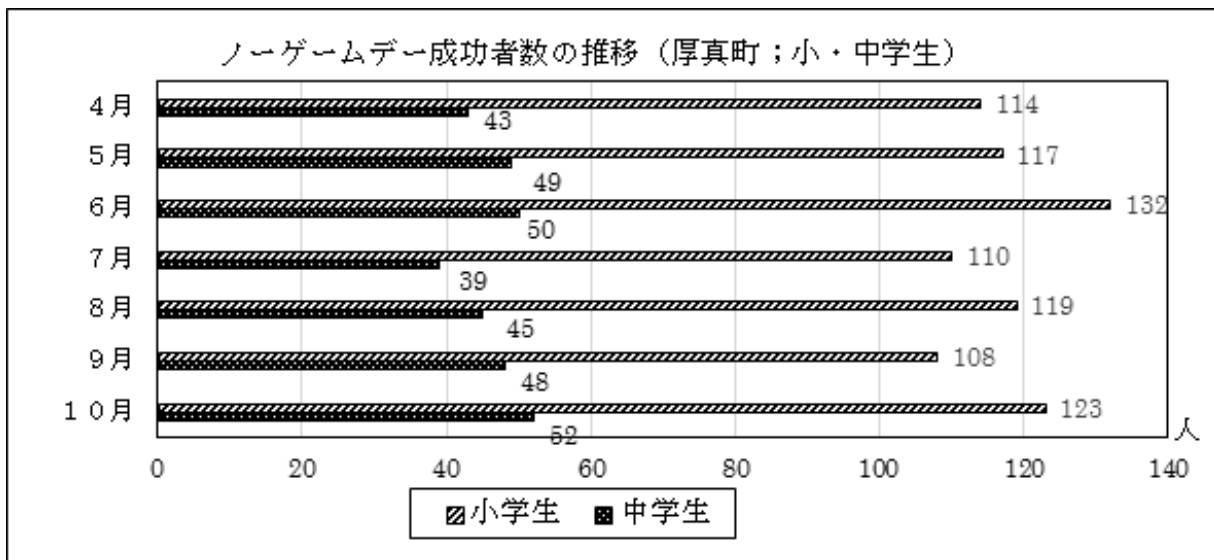
ハロウィンで楽しい一夜



10月27日(金)、総合福祉センターでハロウィンパーティが開催されました。本パーティは町内のALTが外国の楽しい文化を子どもたちに紹介したいと企画したことがきっかけで始まり、本年度で22回目の開催となりました。今年度は町内の小学生107人が参加。ALTのエリッサ先生、ピーター先生が考案した6つのミニゲームを楽しみました。また、道内各地から9人のALTと、厚真高校からも8人の生徒がボランティアとして参加し、秋の一夜の盛り上がり華を添えてくれました。



ノーゲームデー 10月の達成率 小学生 48% 中学生 48%



※ノーゲームデーの成功率とは、「ゲームをしなかった人数」の全児童(生徒)に占める割合です。

電子ゲームから離れ、規則正しい生活習慣の見直しのきっかけに、そして、自己コントロールの力をつけるために、「毎月、第1・第3日曜日は、電子ゲームをお休みしましょう。」という、「ノーゲームデー」を行っています。

10月のノーゲームデーの取組では、小学生では、「ゲームをしなかった」児童と「ゲームの時間をへらした」児童を合わせると、168人(全体の66%)の児童がノーゲームデーに意識的に取り組みました。

中学生では、「ゲームをしなかった」生徒と「ゲームの時間をへらした」生徒を合わせると80人の生徒(全体の75%)が、ノーゲームデーに意識的に取り組みました。

平成29年度厚真町成人式

平成29年度の厚真町成人式は、59人が対象となっています。日時、会場等は次のとおりです。

◆とき 平成30年1月7日【日】
午前11時から

◆ところ 厚真町総合福祉センター

◆対象者

平成9年4月2日から平成10年4月1日の間に出生し、本町に住民票を置いている方及び本人が町外へ転出していても、保護者等が本町に在住している方。

◆案内状の発送・出欠について

対象となる方には、11月中旬にご自宅(ご家族)宛に案内状を送付しております。出欠は案内状に同封の返信用はがきに記入のうえ、12月12日【火】までに返送ください。

ご本人が町内に不在の場合は、ご家族の方がご本人と連絡をとっていただき、返送をお願いします。

対象となっている方で、案内状の届いていない方は下記宛にご連絡ください。

◆問合せ

教育委員会 社会教育グループ ☎27-2495



スケートリンクのオープンについて

毎年ご利用いただいております町民スケートリンクは、来月オープンの予定です。今年も多くの皆様のご利用をお待ちしております。

◆利用期間

平成29年12月25日【月】〔予定〕から
平成30年2月28日【水】まで

◆利用時間

午前9時から午後8時

※12月31日は

午前9時～正午まで

※1月1・2・3日は

午後1時～午後4時まで

※天候や気温等により利用期間が変更になる場合があります。

※利用時間内に除雪・散水等の作業を行う場合があります。その際は、滑走を中止し、作業にご協力をお願いします。



◆問合せ

教育委員会 社会教育グループ
☎27-3775(スポーツセンター)



10月定例教育委員会

10月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆教育長報告

平成30年度教職員当初人事など(3件)

◆所管事項

JA とまこまい広域農協から学校給食センターに新米「ななつぼし」50kg寄贈、議会総務文教常任委員会所管事務調査、厚真町放課後児童クラブ整備に関する意見交換会、第18回健康ふれあいマラソン大会など(9件)

◆その他

平成29年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会について(予定)

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

歳末助け合いチャリティ演芸大会

厚真町婦人団体協議会では、「第41回歳末助け合いチャリティ演芸大会」を開催します。今年は20組、約100名の皆さんが歌や踊りなどを披露します。入場には1口300円の募金券を購入していただきますが、収益は社会福祉協議会に寄付されます。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。



◆とき 12月1日【金】12時開演

◆ところ 厚真町総合福祉センター 大集会室

◆入場料 1口300円の入場券(募金券)を購入の上、入場してください。入場券は当日会場でご購入いただけます。

◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

年末年始の予定

年末年始の教育委員会所管各施設の休館等日程は、以下のとおりを予定しています。

◆青少年センター・創作館

12月30日【土】～1月8日【月】休館

◆スポーツセンター・スタードーム

12月31日【日】～1月5日【金】休館 ※12月30日は午後5時まで

今年も
ご利用ありがとうございました



図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

図書室の仕事ってなにしてるの？

図書室では中学生から大学生までの職場体験を受け入れています。また今年は、小学校でも図書室を調べる授業を取り入れてもらったので、広い年代に図書室がどんな仕事をしているのかを知ってもらうことができました。職業体験の学生には主にカウンターでの利用者対応や、閲覧（えつらん）業務を行ってまいります。時期によって、上厚真小学校やともいき荘での移動図書、乳児健診でのブックスタート、読み聞かせ会に参加してまいります。

小学生には図書室の仕事を簡単に説明して実際に探検してもらい不思議に思ったところを質問してもらいました。普段おこなっている仕事について、改めて質問されると「どうしてそうするのか」の部分を確認して仕事に向き直ることができる良い機会となりました。

高校生、大学生には、中学生よりも難しい仕事も体験してもらいました。「具体的なイメージを持った方が、やっぱり図書館で働きたいと思ってもらえるかしら」と思ったのです。司書資格を取ってぜひ図書館に就職して、今までにない発想の面白い図書館をつくってほしいと思っています。

図書室に来館した際、カウンターに座る緊張した表情のフレッシュ司書候補を見かけたら、どうぞ声を掛けてあげてください。



青少年センターからのお知らせ ～12月の予定～

★プラネタリウム★

●投影日時

- ・ 毎週火曜日 午後3時30分～
- ・ 毎週土曜日 午後1時30分～
- ※23日（土）は祝日のため、また、30日（土）、1月6日（土）は年末年始のため休館いたしますので、プラネタリウムの投影はありません。

●投影内容

- 1 初冬の星座解説
- 2 地球と月の誕生

★天体観望会★

「天王星・海王星をみよう」

- と き 12月22日（金）
午後6時～7時30分
※天候不良の場合は、プラネタリウムでの星空解説を行います。
- ところ 青少年センター天文台
※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は、保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

お問合せ先：
教育委員会社会教育グループ ☎ 27-2495



新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

文芸書

『琥珀の夢 上・下巻』

伊集院 静/著

琥珀とはウィスキーの色。この本は、サントリーの創業者鳥井信治郎の小説です。明治から昭和にかけて国産ウィスキー造りに情熱を注いだ人生がつづられています。マッサンこと竹鶴正孝も登場します。



その他の新着文芸書

- ・砂上 桜木紫乃/著
- ・松浦武四郎北の大地に立つ 合田 一道/著
- ・猫ヲ探ス夢 小路 幸也/著
- ・ミステリークロック 貴志 祐介/著

児童書

『手ぶくろを買いに/ごんぎつね』

新見 南吉/作

10歳までに読んでおきたいシリーズが日本編になりました。初めての雪に戸惑う子ぎつねと優しいお母さん。反省するキツネのごん。10歳といわず大人になっても読んでほしい童話です。このシリーズには里美八犬伝、平家物語もあり、読みやすく編集されているので、古典の入門としてもおすすめの1冊になっています。



その他の新しい児童書

- ・ソゾーッ!こわい話1000 魔夜 妖一/作
- ・動物と話せる少女リリアーネ 12巻 他

実用書

『脱! SNSのトラブル』

佐藤 佳弘/著

SNSに限らず、どんな便利な道具でも知らないうちにトラブルの渦中になるかもしれません。自分は使い方を守っていても、相手が正しい使い方をしているとは限りません。冬休みの間、親子で話し合っ一緒に勉強してみませんか。



その他の新着実用書

- ・人生の持ち時間 曾野綾子/著
- ・消費者も育つ農場 片柳義春/著
- ・本当に効く薬の飲み方・使い方 加藤哲太/著
- ・「教育費をどうしようかな」と思った時に
まず読む本 竹下さくら/著

絵本

『さんどいっちにー』

たんじあきこ/さく

ぱんださん、うさぎさん、りすさんがサンドイッチをもっておでかけ。いっちにーいっちにーさんどいっちにー! 3にんのさんどいっちななみはなにかな。シンプルな絵本ですが、声に出して読むと楽しさが増す絵本なので、ぜひ親子でいっしょに読んでください。



その他のあたらしいえほん

- ・くろくんとちいさいしろくん なかやみわ/作
- ・おでんもおんせん 川北 亮司/文
- ・ふりかけヘリコプター 岩崎なおこ/作
- ・こねてのばして ヨシタケシンスケ/作



～図書室からのお知らせ～



■12月の休館日

23日(木) 天皇誕生日
30日～1月8日 年末年始休館

■青少年センター図書室開館時間

午前9時～午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時～午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時～午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

■12月の移動図書

・上厚真小学校
1、8、15日(金)、21日(木)
午前10時10分～10時25分

・ともいき荘
15日(金) 午後2時00分～2時30分

■おはなしのびっ子

場所：青少年センター 絵本コーナー
14日(木) 午前10時30分～11時

☆放課後子ども教室☆

冬の入り口に立ち、頬にあたる風の冷たさが身に沁みます。子どもたちも暖かそうなジャンパーや、手袋や帽子をかぶってくる子が増えてきました。長かった2学期も残すところあと1か月。体調を崩すことなく過ごしてほしいと思います。

10月後半の放課後子ども教室では、秋の味覚を味わうおやつ作りや、通称、ドイツゲームと呼ばれるカードゲームやニュースポーツ、ハロウィンに合わせたレクリエーションなどを行いました。学習発表会前のため、体育館でのボール遊びや走り回ることが制限されるこの時期は、外で遊んだり室内の小スペースでできる活動を考えています。チームで協力をするこもあれば、駆け引きをしたりもするドイツゲームは、戦略を練るために頭を使うので、想像以上に集中力を使います。また、瞬発力が必要なゲームもあり、いつものように体を動かす遊びができなくても、子どもたちの表情はとても明るかったです。10月のおやつ作りは、厚真産の食材を使ったキノコ汁とカボチャ団子を作りました。白玉とカボチャで作った鮮やかな黄色のお団子は、ほんのり甘く、モチモチとした触感。出汁のきいたキノコ汁とも相性抜群です。「キノコはあんまり好きじゃないけど、今日は食べられた!」と笑顔で報告してくれた子の姿もありました。自分で作ってみんなで食べると、苦手な食材にもチャレンジすることができるのだと思います。



11月前半の活動では、オリジナル種目で競うスペシャル運動会と、放課後ミニ実験・紙飛行機の科学を行いました。スペシャル運動会では、定番競技の玉入れやリレーにひと工夫。クイズを取り入れたり、道具を使って走るスピードに差をつけたりすることで、運動が得意ではない子も積極的に参加し、大変盛り上がりました。中には勝敗にこだわりすぎてしまい、仲間と衝突することもありましたが、こうした心の揺れ動きも子どもたちの成長には必要だと考えています。自分の想いと相手の気持ちのバランスを考える場面は、これからの活動でも作っていきたいと思います。ミニ実験では、子どもたちにも簡単に折ることができる紙飛行機を題材に、なぜ紙飛行機は浮くのか、紙飛行機を長く飛ばし続けるためにはどうすれば良いのか、実際に紙飛行機を作りながら実験をしました。重心、羽根の大きさ、折り方、飛ばす時の速度や角度など、ヒントをもとに改良を重ね、飛距離を伸ばします。低学年でも簡単に作れる紙飛行機ですが、こうして考えるととても奥が深く、スタッフも一緒になって試行錯誤しながら紙飛行機を作り続けていました。先月の種模型作りに引き続き、子どもたち自身が手を動かし、イメージしたものを形にしようと工夫する姿は、見ている側もワクワクします。スーッと真つすぐ遠くへ飛んでいく紙飛行機に、たくさんの歓声が上がりました。

